

『YKK FASTENING CREATION for 2016』 開催 YKK株式会社

YKK株式会社、YKKファスニングプロダクツ販売株式会社、YKKスナップファスナー株式会社は8日、大阪、東京、名古屋の3会場にて『YKK FASTENING CREATION for 2016』を開催することを発表した。

『YKK FASTENING CREATION for 2016』は新商品のご紹介をはじめ、ファスニング商品の新たな可能性を、顧客、マスコミ関係者、また一般の方々に広くお伝えする総合展示会で、さまざまなファッション分野向けのファスニング商品の展示をはじめ、生活を豊かに快適にする多彩なファスニングソリューションの提案もおこなう予定である。

本年で20回目となる開催を記念して、著名ゲストによるトークショーをはじめ、日本のトップクリエイターとのコラボレーション展示などスペシャルイベントの実施を予定している。

さらに大阪会場と東京会場では、第15回YKKファスニ

ングアワード（ファスニング商品に焦点あてた学生対象のファッションデザインコンテスト）のファッションショーを実施。併せて東京会場ではアワードの授賞式を行い、また、名古屋会場では入選作品の展示を行う予定である。

【開催地 および 日程】

- ・ 大阪会場：マイドームおおさか 3階・Fホール
2015年9月29日(火)～30日(水) 10:00～17:00
- ・ 東京会場：両国・国技館
2015年10月8日(木)～9日(金) 10:00～17:00
- ・ 名古屋会場：ナディアパーク 3階デザインホール
2015年10月14日(水) 10:00～17:00

展示会、コンテストの詳細につきましては、以下のURLをご参照ください。

- ・ YKK FASTENING CREATION for 2016

<http://www.ykkfastening.com/japan/fc2016>

橋本健一郎氏の
8月アルミレポート及び9月の見通し②

橋本アルミ(株)
橋本健一郎氏

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比-3.6%の7万229 t。10カ月連続マイナス。出荷は-3.6%の7万1021 t 17カ月連続マイナス。

内 出荷先 鋳物 -3.7% ダイカスト -4.8% 板 +1.8% 押出 +46.2% 鉄鋼 -18.9% 合金地金メーカー -4.2%

【アルミ圧延・押出品生産数】 -0.8% 5カ月連続マイナス 18万1434 t

板類

(1) 缶材 42948 t (5.4%)、ビール系飲料はマイナス模様となったものの、ボトル缶の好調及び一部コーヒ缶のアルミ化による需要増により、4ヶ月連続でプラス。

(2) 自動車 13760 t (4%)：国内乗用車生産台数は減少しているが(6月の生産台数：683千台、前年同月比：▲6.1%)、アルミパネル材を採用する主に高級乗用車等の輸出増加に加え、トラック架台の需要増により2ヶ月連続でプラス。

(3) 輸出 21002 t (13.5%)、海外関連工場への素条輸出の増加や円安による輸出環境の好転等により、16ヶ月連続でプラス。

押出類

(1) 建設 41913 t (▲4.2%)：6月の新設住宅着工戸数はプラスとなったが(6月の着工戸数：88,118戸、前年同月比：+16.3%)、建設全体としては13ヶ月連続でマイナス。

(2) 自動車 11,903 t (▲3.1%) 国内乗用車生産台数と連動し、マイナスに転ず。

【輸出】アルミ新地金が前年比-62.8%の54 t。二次合金が-3.2%の1469 t、スクラップが-31.5%の11005 t、アルミ缶が前年比+41.9%の4665 t

【輸入】アルミ新地金が前年比-26.4%の127360 t。二次合金が-4.3%の8万5057 t、スクラップが-31.7%の762、合金スクラップが-48.9%の2967 t

【見通し】・自動車は生産が前月に続き大減少の-5.9%。8月の国内販売台数が前年比+2.3%。生産が13ヶ月連続マイナスではあるが販売が1カ月ぶりプラス。生産がついに1年間に前年割れとなったが販売の方が1カ月ぶりにプラス。生産増に繋がるか今後の動向に期待。

・新設住宅着工数は、88,118戸で、前年同月比で16.3%増となった。

また、季節調整済年率換算値では103.3万戸(前月比13.4%増)となった。利用関係別にみると、実数値では、前年同月比で持家、貸家増、分譲住宅で減となった。季節調整値については、前月比で持家、貸家、分譲住宅ともに減となった。・住宅着工の動向については、このところ前年同月比で5か月連続の増加となっており、昨年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が薄れ、持ち直しているとみている。・反動減の影響が大きかった持家は、前年同月比で3か月連続の増加となった。今般の経済対策等の効果が住宅着工に表れていると思われる。引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。今後の動向に注目

・アルミ圧延・押出品生産数 主力の押出 建設部門の悪化を受けて減少。今後の住宅回復に期待

・アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績 自動車系の悪化を受けて減少。自動車が低迷する中、住宅の回復に期待

・輸出 LMEアルミの大幅下落から 2次合金、スクラップ共に減。地金は生産調整を受けて大幅減少。

・輸入 地金、合金、スクラップ全てLME価格下落、内需の低迷から 減少。

【スクラップ需給予想】先月に続き、流通在庫はここ最近の急落を受けて、問屋に塩漬け玉があるものの、価格が合わない事や生産減によるスクラップ発生難を受けて、置き場 資金面から急ぎで売る必要性ない、一方メーカーは自動車販売が増加しているため必要量の確保ができてない所もあり在庫は薄くなるため、需給は引き締まるとの予測。

【価格・為替予想】今月は、中国の株価対策及び景気対策、そして米国の利上げ問題に左右される。

中国の株価および景気対策に関しては当局は先月に続きもはや自由経済とは思えないほどの株価策をなすり付け構わず行い 一次的に反発はしたものの、やはり有効な策とは言えず。また実需を生み出す景気対策も行っていないことから更なる下落をするのではないかと米利上げ時期に関しては当初予定の9月説は、米経済指標は堅調ではあるが、中国バブル崩壊の機運が高まる中、今行いう可能性は低いのではないかと。それらを踏まえた8月のアルミ価格は、中国当局が株価及び景気対策に関しての何かしらの表明、上海株の下落を落着かせ、米国が今月の利上げを行わなかった場合、

8月高値一段高の1700ドルを予測。いずれかの場合は1550ドル。下値はいずれの条件も達成できなかった場合もう一段安値の1400ドル。

為替は、米FRBの利上げについて9月説が台頭していたが中国バブル崩壊の機運が高まる中今月行われる可能性は低いのではないかと。それらを踏まえ予測は、上値はアメリカが9月の利上げを行った場合、中国バブル崩壊が早まる事や新興国からの資金吸い上げそれに伴うドル高の加速判断から大幅円高の119円台を予測。下値は利上げを行わなかった場合ほぼ現状と変化なしとの判断から122円台。メーカースクラップ購入価格は0から-5円と予測している

昭和27年創業の銅線加工専門会社

■電線・ケーブル用銅線の伸線受託加工

株式会社 河南伸銅所

〒580-0045 松原市三宅西1-357-1

☎ 072-331-2545

銅建値は1万円引上げの69万円

月内平均は68万5,200円。

JX日鉱日石金属は9日、電気銅建値を1万円引上げの69万円と発表し、同日から実施した。

月内建値平均は68万5,200円。

9日入電のLME銅相場のセトルメントが5,280.0ドル、9日発表のTTSレート121.23円で換算した採算価格は、64万円となり、建値と採算価格から見た諸掛りは5万円。

直近6か月の建値推移は次の通り。

(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

・2015年

4月=770(1) 760(6) 770(9) 760(15) 770(20) 760(24)

平均765.5

5月=810(7) 820(13) 810(19) 800(27) 平均810.5

6月=790(1) 770(12) 750(17) 740(22) 760(25) 平均769.5

7月=750(1) 730(7) 720(21) 700(24) 平均724.0

8月=690(3) 710(11) 690(14) 670(19) 660(24) 640(27) 平均678.5

9月=670(1) 680(4) 690(9) 平均685.2

黄銅削粉は4円引上げの478円に。

関西の黄銅棒大手N社と三菱伸銅は9日、4円引上げで478円にすると発表した。

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

鉛屑・半田屑

雨滝商事株式会社

広陵リサイクルセンター

代表取締役 雨滝 卓

奈良県北葛城郡広陵町大字三吉27-1

TEL/FAX (0745)60-1613 携帯 090-2115-4918

高価買取ります